

(資料3) 平成23年度地方環境研究所等との共同研究実施課題一覧

内訳 :52機関 44課題(Ⅰ,Ⅱ型共同研究を含む。Ⅱ型は代表研究所を掲載)

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		研究期間 (年)	備考
				Ⅰ・Ⅱ	A・B		
北海道立総合研究機構 環境研究センター	永洞真一郎(環境保全部)	大気粉じんのバイオアッセイによる遺伝毒性及び環境ホルモン活性を指標とした地域特性の調査研究	中島大介(リスクC)	Ⅰ	B	22～23	継続
	姉崎克典(環境保全部)	ダイオキシン類及びPCBsの発生源解析に関する研究	橋本俊次(計測C)	Ⅰ	A	22～24	継続
	五十嵐聖貴(環境科学部)	摩周湖の透明度変化に関する物理・化学・生物学的要因解析	田中 敦(計測C)	Ⅰ	A	22～24	継続
	野口 泉(環境保全部)	長距離輸送大気汚染物質に起因する対流圏オゾンおよび酸性霧による森林影響	清水英幸(地域C)	Ⅰ	A	22～24	継続
	五十嵐聖貴・高田雅之・三上英敏(環境保全部)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
北海道立総合研究機構 水産試験センター	中島美由紀・隼野寛史(さけます・内水面水産試験場)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
青森県産業技術センター 内水面研究所	長崎 勝康(調査研究部)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
秋田県健康環境センター	佐藤信也(環境保全部)他3機関	湖沼生態系の持続的管理手法の開発に関する研究	田中嘉成(リスクC)	Ⅱ	A	22～24	継続
宮城県保健環境センター	佐久間 隆(大気環境部)	大気粉じんのバイオアッセイによる遺伝毒性及び環境ホルモン活性を指標とした地域特性の調査研究	中島大介(リスクC)	Ⅰ	B	22～23	継続
	郷右近順子(水環境部)	非意図的に生成された化学物質が排出される水環境の包括的評価に関するパイロット研究	白石不二雄(リスクC)	Ⅰ	A	22～23	継続
	郷右近順子(水環境部)	水田農業を対象とした排出推定モデルの検証とモデル向上に資する調査研究	今泉圭隆(リスクC)	Ⅰ	B	23～24	新
	郷右近順子(水環境部)	震災廃棄物・津波汚泥及びその仮集積・埋立処理によって引き起こされる化学物質汚染の一次スクリーニング	中島大介(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
	渡部正弘(水環境部)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
福島県内水面水産試験場	石田 敏則・榎本昌宏・富谷敦/紺野 香織(調査部)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
群馬県衛生環境研究所	熊谷貴美代(研究企画係)	大気中の酸化的二次生成物質の測定と遺伝毒性評価	中島大介(リスクC)	Ⅰ	A	22～24	継続
茨城県霞ヶ浦環境科学センター	広瀬 浩二・須能紀之・星 麻里恵・中村 剛也(湖沼環境研究室)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
	北村立実(湖沼環境)	霞ヶ浦流域の河川と湖内における底泥の脱窒作用に関する調査研究	林 誠二(地域)	Ⅰ	A	23	新
埼玉県環境科学国際センター	渡辺洋一・長森正尚・川崎幹生・長谷隆仁・磯部友護・鈴木和将(廃棄物)	震災廃棄物等の適正処理のための現場計測技術の開発(新規)	山田 正人, 遠藤和人, 石垣 智基(循環C)	Ⅰ	A	23～24	新
千葉県環境研究センター	小林広茂(水質地質部)	東京湾東部における未確認有害植物プランクトンのモニタリング	河地正伸(生物C)	Ⅰ	B	22～24	継続
	飯村 晃(水質環境研究室)他27機関	沿岸海域環境の診断と地球温暖化の影響評価のためのモニタリング手法の提唱	牧 秀明(地域C)	Ⅱ	A	23～25	新
	岡崎 淳(企画情報室)他7機関	植物のオゾン被害とストレス診断に関する研究(C型研究代表)	青野光子・久保明弘(生物C)	Ⅱ	A	21～23	継続
神奈川県水産技術センター	山田佳昭(資源環境部)	東京湾西部における未確認有害植物プランクトンのモニタリング	河地正伸(生物C)	Ⅰ	B	22～24	継続
神奈川県水産技術センター内水面試験場	戸井田 伸一(専門研究員)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	Ⅰ	B	23～25	新
横浜市環境科学研究所	酒井 学(水質環境)	都市部と農村部における河川水のオオミジンコを用いた総合毒性評価に関する研究	多田 満(生物C)	Ⅰ	B	21～23	継続
川崎市公害研究所	竹内 浄(都市環境研究)	川崎市における大気シミュレーションに関する研究	菅田誠治(大気)大原利真(地域C)	Ⅰ	A	22～23	継続

山梨県衛生環境研究所	吉澤一家・佐々木裕也・長谷川裕弥(科学部)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
長野県環境保全研究所	中込和徳(大気環境部)	八方尾根におけるアジア大陸起源大気粉じんの成分特性の解明	向井人史(地球C)	I	A	22～24	継続
	村上隆一(大気環境部)	内陸山間地域における揮発性有機化合物の動態に関する研究	横内陽子(計測C)	I	A	22～24	継続
	樋口澄男(水・土壌環境部)	湖沼における水草帯の保全と復元手法に関する研究	笠井文絵(生物C)	I	A	21～23	継続
	小平 由美子・赤池 史子・樋口澄男(主担当 技師)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
静岡県環境衛生科学研究所	今津佳子(環境科学部)	大気粉じんのバイオアッセイによる遺伝毒性及び環境ホルモン活性を指標とした地域特性の調査研究	中島大介(リスクC)	I	B	22～23	継続
	今津佳子(環境科学班)	水田農業を対象とした排出推定モデルの検証とモデル向上に資する調査研究	今泉圭隆(リスクC)	I	B	23～24	新
	後藤裕康(班長)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
浜松市保健環境研究所	鈴木 政弘・赤池伸三・鶴見達典・平野重希・鈴木大介・神谷隆史(水質測定グループ)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
富山県環境科学センター	木戸瑞佳・近藤隆之(大気課)	山域地域における黄砂エアロゾルの動態に関する研究	西川雅高(計測C)	I	A	21～23	継続
	木戸瑞佳・近藤隆之・山崎敬久(大気課)	ライダー観測データを用いた富山県における黄砂エアロゾルの影響に関する研究	杉本伸夫・松井一郎(計測C)、清水 厚(地域C)	I	A	22～24	新
石川県水産総合センター 内水面水産センター	杉本洋(主任研究員)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
福井県衛生環境研究センター	下中 邦俊・片谷千恵子(主任研究員)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
	田中宏和(環境部)	北陸地方における安定化促進と安全な跡地利用のための最終処分場の分析評価と基礎技術開発	山田正人、遠藤和人、石垣智基(循環C)	I	A	23～25	新
福井県海浜自然センター	多田雅充・前田英章(所長・企画主査)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
愛知県環境調査センター	清水 美登里・服部 廉(主任研究員)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	金子 有子・西野麻知子・井上 栄壮(総合解析部門)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
京都府保健環境研究所	日置 正・辻 昭博(大気課)	エアロゾル中の微量金属元素濃度及び鉛同位体比を用いた長距離輸送現象の解析	向井人史(地球C)	I	A	21～23	継続
	日置 正(大気課)	化学成分組成を指標とした都市大気エアロゾルの越境大気汚染による影響評価	大原利眞(地域C)	I	A	22～24	継続
	日下 哲也・鶴鷹圭三	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23～25	新
大阪府環境農林水産総合研究所	山下幸康、山本勝彦、杉林正隆、中戸靖子	ライダー観測データを用いた近畿地方の対流圏大気環境の調査	杉本伸夫・松井一郎(計測C)、清水 厚(地域C)、西川雅高(計測C)	I	A	23	新
大阪市立環境科学研究所	板野泰之(都市環境担当)他52機関	PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究	大原利眞、菅田誠治(地域C)	II	A	22～24	継続
兵庫県環境研究センター	羽賀雄紀(安全科学科)	大気粉じんのバイオアッセイによる遺伝毒性及び環境ホルモン活性を指標とした地域特性の調査研究	中島大介(リスクC)	I	B	22～23	継続
	松村千里(安全科学科)他31機関	有機フッ素化合物の環境実態調査と排出源の把握について	柴田康行(計測C)	II	A	23～24	新
	宮崎 一(水質環境科)他11機関	浅海域における干潟・藻場の生態系機能に関する研究(C型研究代表)	矢部 徹(生物C)	II	A	21～23	継続
名古屋市環境科学研究所	池盛文数(大気騒音部)	大気中の酸化的二次生成物質の測定と遺伝毒性評価	中島大介(リスクC)	I	A	22～24	継続
	山神真紀子(大気騒音部)	大気中粒子状物質の成分の短期暴露による健康影響評価	上田佳代(健康)	I	A	22～23	継続

	朝日教智・榊原靖(水質部)	土壌・地下水汚染物質の微生物分解に関する研究	岩崎一弘(地域C)	I	A	21~23	継続
鳥取県衛生環境研究所	森 明寛(水環境・研究主任)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23~25	新
	畠山恵介(水環境対策チーム)	鳥取県内湖沼(湖山池)における難分解性溶存有機物の特性	今井章雄(地域C)	I	A	23	新
鳥取県水産試験場/栽培漁業センター	福井利憲(浅海水面グループ)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23~25	新
島根県保健環境科学研究所	黒崎 理恵(大気環境)	高濃度エアロゾル現象に関するPM2.5の影響調査とライダー観測データの応用	杉本伸夫・松井一郎(計測C)、清水 厚(地域C)、西川雅高(計測C)	I	A	23	新
	神谷 宏(水環境グループ)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23~25	新
島根県水産技術センター	勢村 均・山根恭道(内水面浅海道)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23~25	新
福岡県保健環境研究所	田中義人(環境科学部)	微細藻類が生産する有毒物質のモニタリングに関する研究	佐野友春(計測C)	I	B	22~24	継続
	須田隆一(環境科学部)他13機関	ブナ林生態系における生物・環境モニタリングシステムの構築	清水英幸(地域C)	II	A	22~24	継続
福岡市保健環境研究所	藤代敏行(環境科学課)	博多湾における円石藻の非円石細胞ステージのモニタリング	河地正伸(生物C)	I	B	21~23	継続
	肥後隼人(環境科学課)	大気中の酸化的二次生成物質の測定と遺伝毒性評価	中島大介(リスクC)	I	A	23~24	新
鹿児島県環境保健センター	平原律雄(大気部)	大気粉じんのバイオアッセイによる遺伝毒性及び環境ホルモン活性を指標とした地域特性の調査研究	中島大介(リスクC)	I	B	22~23	継続
	永井里央(水質部)	水田農薬を対象とした排出推定モデルの検証とモデル向上に資する調査研究	今泉圭隆(リスクC)	I	B	23~24	新
沖縄県衛生環境研究所	玉城不二美(衛生科学班)	微細藻類が生産する有毒物質のモニタリングに関する研究	佐野友春(計測C)	I	B	22~24	継続
	仲宗根 一哉(環境科学班)	沖縄県における赤土流出削減対策に関する研究	山野 博哉(生物・生態系)	I	B	23~25	新規
熊本市環境総合研究所	吉永慎一(環境科学部)	湖沼の生物多様性・生態系評価のための情報ネットワーク構築	高村典子・松崎進一郎(リスクC)	I	B	23~25	新

* 研究タイプ I・II型

I 型共同研究:地環研等と国環研の研究者の協議により、共同研究計画を定め、それに従って各々の研究所において研究を実施するもの。

II 型共同研究:全国環境研協議会と国環研の協議のもとに、国環研と複数の地環研等の研究者が参加して共同研究を実施するもの。

* 研究タイプ A、B

A: 地方環境研究所の研究者が申請する場合

B: 国立環境研究所の研究者が申請する場合